

令和3年度 全国学力学習状況調査結果概要

今年度も全国学力学習状況調査が実施されました。この結果は児童の学力の全てを把握するものではなく学力の特定の一部を示しているものですが、これを分析して成果と課題を明確にし、今後の学習活動や生活の改善に活かしていくことが重要であると考えています。以下に本校の調査結果の概要を示します。



【国語】

- ・ 本校の平均正答率は全国平均や奈良県平均よりも高くなっていました。
- ・ 例年、記述式の問題に弱い傾向が見られ、本校の課題となっていますが、今年度は改善が見られました。アンケートからは、ほとんどの児童が「国語は大切だ」と考えていることが分かりましたが、「授業では、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」児童は全国平均よりもかなり少なくなっていました。このことから、言語に関する知識や理解の学習に加えて、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を充実させることが必要であると考えます。国語科で学習したことを他教科の学習や学校の教育活動全体の中でも使う機会が持てるように、年間指導計画に意図的・計画的に位置づけ、取組を進めていきたいと思ひます。

【算数】

- ・ 本校の平均正答率は全国平均よりもやや低く奈良県平均と同等でした。
- ・ 「算数の勉強が好き」や「授業の内容はよくわかる」等のアンケート結果から本校では算数が苦手と考える児童が多いようです。本校ではこれまでもICT機器を活用し、楽しい授業・分かる授業の工夫に取り組んできており、昨年度からは指導にデジタル教科書も活用しています。今後も引き続き取組を進め、作業的・体験的な活動を工夫しながら理解を深める授業を展開していきます。授業の中で基本的な知識や技能を身につけるだけでなく、身につけた力を生活や様々な学習の場面で活用できるようにすることにより、児童にとって学習が意味のあるものとなり数学の良さを実感を伴って味わうことができるようにしていきたいと思ひます。



【学習状況(学習意欲・方法・環境・生活等)】

- ・ 家庭学習の時間は平日・休日ともに約3分の1の児童が30分～1時間程度で、奈良県や全国の平均と比較しても全体的にかなり短い傾向にあります。低学年のうちから、保護者と連携して家庭学習の習慣づけを行い、自主的に学習をする態度を養うことが必要であると考えます。
- ・ 「いじめはどんな理由があってもいけない」の問いに対して98.5%の児童が肯定的な回答をしました。引き続き「いじめ防止基本方針」に沿って、いじめを許さない心の育成に努めていきます。
- ・ 「自分にはよいところがある」「将来の目標や夢をもっている」のアンケート結果からは、自尊感情や自己有用感の低さが見られます。このことについては全国的にも課題となっている事象です。学校生活の様々な場面で児童が自分の役割を果たし満足感や達成感を得られる機会、グループ活動の中で自他のよさを認め合いながら主体的に取り組む機会などを設け、自尊感情や自己有用感を育む取組を進めていきます。
- ・ 「学校に行くのが楽しい」に否定的な回答をした児童が26%でした。コロナ禍において学校生活にいろいろな制限があることも影響していると考えられますが、これらの児童の様子把握や理由の分析をし、楽しい学校生活が送れるよう支援をしていくことが必要であると考えます。